

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 179

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL092-641-1101)
内線 2256

目 次

- ◇ 年末年始の業務スケジュールについて 1
- ◇ カード保管棚の整理について(再) 2
- ◇ FSO (Full Screen Option) について 2
- ◇ マニュアル類の持ち出しについて 6
- ◇ TTY手順の端末の特殊記号(!)の変更について 6

◇ 年末年始の業務スケジュールについて

年末年始の業務スケジュールは下記のとおりです。

記

月/日	53年12月			54年1月				
	25 (月)	26 (火)	27 (水)	28 (木)	4 (木)	5 (金)	6 (土)
内容	通常業務	業務停止					通常業務	
		オープンパンチ室利用停止						
		プログラム相談停止						

- 備考 1. 年末のジョブ受付は、12月25日19時で締切り、年始のジョブ受付は、1月5日13時15分に開始します。なお、1月5日は17時で終了します。
2. 計算ジョブ(リモートバッチを含む)は、12月26日9時より強制出力してセンタ

一の返却箱に入れるか、または連絡所へ送付します。

3. 連絡所から計算を依頼される場合は郵便物の遅配も考慮に入れて12月25日までに必着するよう発送願います。なお、締切以後に到着したジョブは1月5日以後に処理します。
4. オープンパンチ室は12月27日19時まで利用できます。
5. 12月25日の午前中は定期保守日になっていますが保守は行わず、計算業務を行います。

(業務掛 電(内)2244)

◇ カード保管棚の整理について(再)

5階滞在者控室のカード保管棚を、12月25日に整理します。引き続き利用される方は、西利協窓口まで申し出てください。

なお、整理の都合上、期日までに申し出がない場合は、不要とみなしますので必要な方は早目にお引取り願います。

(共同利用掛 電(内)2256,2264)

◇ FSO (Full Screen Option) について

センター2階に設置してあるIOC端末(F6251ディスプレイ端末)で、キーボード上にある各種のキーを用いて、画面を修正しさえすれば、データセットの内容が修正されるというソフトウェアが、使えるようになりましたので、紹介します。

FSOは、Full Screen という名が示すとおり、ディスプレイ装置へのアクセスを1行ごとに行うのではなく、画面全体を1度のアクセスで処理するものです。

FSOの主な機能としては次のようなものがあります。

- (1) 文字単位の修正をキーボード上のキーだけを用いて行うことができる。
- (2) 行単位の編集も、行番号の部分にサブコマンドを入力することにより容易に行うことができる。
- (3) 表示画面を、ファンクションキーを押すことにより、縦、横方向に移動することができる。
- (4) 1行の内容が画面の1行に収まらない場合でも、画面を横に移動することにより、表示させることができる。
- (5) データセットの内容を16進数で表示させることができるので、バイナリデータの編集が、可能である。
- (6) 行番号なしのデータセットでも、行番号付きのデータセットと同様の編集方法を用いることができる。

(7) 表示画面の一部を固定することができるので、データセット中の異なる部分を、同一画面上に表示させることができる。

FSO において入力できるサブコマンドには、

- 行サブコマンド
- モードサブコマンド
- EDIT のサブコマンド

があります。このうち、行サブコマンドは、データ行の行番号フィールドに入力し、その他は、画面の2行目のサブコマンド行に入力します。行サブコマンドとモードサブコマンドの一覧を、表1と表2に示しておきます。

次に、FSOの簡単な使用例を示します。

データセット F0001. MY. FORT に、FORTRAN のソースプログラムがあったとして、次のように修正するとします(図1参照)。

```

行40 → K = SQRT (FLOAT(I))
行60 → IF(MOD(I,J).EQ.0) GO TO 4
行90 → 3 FORMAT(I10)
行100 → 削除

```

行サブコマンド	機能
I (insert)	新たな行をこの行の後に挿入する
D (delete)	行を消去する
R (repeat)	この行と同じ内容の行をこの行の後に挿入する
C (copy)	この行をコピーする
M (move)	この行を移動する。もとの行は削除する。
A (after)	C, Mで指定した行をこの行の後に挿入する
B (before)	C, Mで指定した行をこの行の前に挿入する
< (left)	行の内容を左にシフトさせる
> (right)	行の内容を右にシフトさせる
X (exclude)	この行を表示させないようにする
S (show)	表示させないようにした行を再表示させる
COLS	この行にカラムの目盛りを表示する
TABS	TAB位置の表示、変更を行う
BDY	行シフト(<, >)の境界を定義する
行番号	EDITの行編集サブコマンドと同じ

表1 行サブコマンド一覧

サブコマンド名	オペランド	機能
CHAR		文字形式で表示する。
HEX		16進数形式で表示する。
EDIT		編集可能形式で表示する。
BROWSE		編集不可能形式で表示する。
NULLS		行の終わりの空白を表示しない。
NONULLS	数字(0~255)	行の終わりの空白を表示する。
TABS		ハードタブを設定する
NOTABS		ハードタブを設定しない。
RESET		行サブコマンドのCOLS, TABS, BDY, Xを無効にする。
LOCATE	行番号	指定された行へ画面を移動する。

表2 モードサブコマンド一覧

まず、次のようにして FSO を呼び出します。

READY

EDIT MY FORT(FIXED)

EDIT

FS

こうすると、ディスプレイの画面に、図1のように、データセット F0001. MY. FORTの内容が表示されます。そこで、以下のような操作を行えば上記のようなソースプログラムの修正が行えます。

- (1) 行40の FLOAT ((I)) の下線の位置にカーソルを合わせ、DELETEキーを押す。
- (2) 行60の MOD (I. J) EQ. の下線の位置にカーソルを合わせ、INSERT MODE キー、“.”のキー、RESETキーを順に押す。
- (3) 行90の FORMET の下線の位置にカーソルを合わせ、“A”を入力する。
- (4) 行100の行番号表示 0100 の下線の位置にカーソルを合わせ、“D”を入力して、ENTERキーを押す。

```

FULL SCREEN MODE --- ENTER PF3 TO TERMINATE FSO (V00/L00)
==>
  ROW SCROLL ==> PAGE          COLUMN SCROLL ==> 40          NONULLS 50
-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----
0010      WRITE(6,1)
0020      1 FORMAT('LIST OF PRIME NUMBERS FROM 1J TO.20')
0030      DO 4 I=9,20,2
0040      K=SQRT(FLOAT((I)))
0050      DO 2 J=3,K,2
0060      IF (MOD(I,J)EQ.0) GO TO 4
0070      2 CONTINUE
0080      WRITE(6,3)I
0090      3 FORMET(110)
0100      STOP
0110      4 CONTINUE
0120      STOP
0130      END
*** END OF DATA SET ***

```

図1 FSO の表示画面

以上の操作で EDIT の編集用データセットの内容が更新されます。次に、ファンクションキーの PF3 を押すと、FSO が終了し、画面は通常の EDIT モードとなるので、SAVE サブコマンドを入力して、編集用データセットの保存を行えばよいわけです。

なお、現在 FSO には、次のような制限事項があります。

- (1) 2 5 6 カラム以降を固定すると、画面にゴミが出る。
- (2) 画面の 5 0 数カラム以降の左側固定でゴミが出る。
- (3) コマンド実行ペンディングになっていても、そのコマンドが画面上にないと、エラーメッセージが表示されない。
- (4) カーソルが、画面の 2 行目にある時、画面固定用のキー (PF2) を押しても、画面が固定されない。

FSO のマニュアルとしては、

FACOM OSV TSS テキスト編集使用手引書 Full Screen Option (FSO) 編
 マニュアルコード (64SP-2080-1)

がありますので参照してください。

◇ マニュアル類の持ち出しについてお願い

最近、プログラム相談室、ターミナル室等に備え付けているマニュアル類が頻繁に紛失しています。

これらのマニュアル類は利用者の便宜をはかるために備え付けているもので、これが紛失しますと他の多くの利用者に迷惑をかけることとなりますので一時借用、他室への持出し等のないよう特にお願いします。

(共同利用掛 電(内) 2256)

◇ TTY 手順の端末の特殊記号 (!) の変更について

TTY 手順の端末で英小文字を使うソフトウェア(例えば Ratfor)をサポートするために、12月8日より特殊記号(!)の扱いを変更します。今までは、英小文字キーの付属していない端末からも、PL/Iの60文字セットが使えるように“|”(OR記号)の代用として“!”を使うことができましたが、今後使えなくなるのでご注意ください。

そのため12月8日からはOR記号として、英小文字キーの付属している端末では“|”を、付属していない端末では“OR”(48文字セット)を使用してください。なお、NOT記号については従来どおりです。

センター内端末では次のようになります。

	OR記号	NOT記号
ソニーテクトロニクス(4006)	OR	^
ADDS Regent 100		↑
DEC Writer II		^
F9525 (IOC 端末)		┘
F1510E 注)	!	^

注) F1510Eについては変更しないので従来どおりです。